

奨励 《伝道者養成のための神学生奨学金献金と壮年会活動の推進》

大野裕昭(川崎バプテスト教会牧師)



私は2015年3月に西南学院大学神学部専攻科を卒業し、4月から招聘いただいた川崎バプテスト教会の牧師として働かせていただき、今年2年目を迎えています。

なつかしく思い出されるのは、2003年に40歳の時にバプテスマを受けた郡山コスモス通りキリスト教会の兄弟姉妹との心温まる交わりのときでした。今も楽しかった思い出が浮かんできます。

2007年に念願かなって故郷仙台に転勤で戻ることが出来たのですが、もうすでに21年の年月が過ぎ去っていた故郷で、すっかり私はよそものになっていたのです。2008年に日本バプテスト仙台基督教会に転入会したのですが、教会のみなさんはキリストにある兄弟姉妹としてあたたかく迎えてくださいました。2009年の秋に献身の決意表明をし、2010年に西南学院大学神学部を受験(奨学金貸与)のために教会推薦をいただく臨時総会で、私にとって厳しい人物評をいただきました。教会にしてみれば

無理もない当たり前のことでした。仙台教会に転入会して間もない、素性のよく分からない男の献身の決意が、快い賛同を得られるはずなどなかったのです。まして、貸与される奨学金は高額であり、返済の最終責任は推薦教会が負うことにもなるからです。ですが、私にとってこの出来事は、東日本大震災と合わせ、主なる神からの召命を徹底的に吟味する時となりました。

献身の召命とは、神との個人的な出来事であります。しかしながら、教会の出来事として総会で決議し、推薦し、献身者を学びの場へと送り出し、祈り支えていきます。献身者もそのことを担い続けます。ですから、献身者を送り出す教会は、時に厳しい叱咤激励も必要であると思います。私自身、出身教会の兄弟姉妹への心からの感謝と悔い改めをもって、今も祈りへと導かれていくのです。

2016年度神学校週間にあたって 全国壮年会連合副会長(神学校献金推進担当) 野口正俊(志村バプテスト教会)

今年の「神学校週間」は6月26日(日)より7月3日(日)までとなっております。まずは、西南学院大学神学部、東京バプテスト神学校、九州バプテスト神学校において伝道者を目指して学ぶ神学生のために祈りましょう。

私たちは、壮年会連合の事業の一つである伝道者養成に関わる西南学院大学神学部神学生奨学金のための財源を確保するため、神学校献金(神学生奨学金献金)推進を全国の諸教会に呼びかけ、さらに毎年6月には「神学校週間」として、神学生を覚えて祈り、神学校献金のおすすめをしております。

さらに、2012年の連盟定期総会において、神学校献金(神学生奨学金献金)は西南学院大学神学部神学生だけでなく、東京バプテスト神学校(専攻科)と九州バプテスト神学校(牧師コース)で、伝道者となるために学ぶ神学生にも用いられるよう提案、承認されました。その議決を受け2013年度からは、「神学校献金(神学生奨学金献金)」は西南学院大学神学部神学生ばかりでなく、東京バプテスト神学校と九州バプテスト神学校で学ぶ神学生のためにも奨学金が支給されていることはご存知の通りだと思います。残念ながら、いまま無牧師の教会・伝道所が増える傾向にあります。必要とされる伝道者を満たすためには、西南学院大学神学部だけでも毎年25名の神学生を送り出したいと私たちは願っております。そのために神学校献金(神学生奨学金献金)の目標を毎年3,000万円としてきました。今年度も私たちは3,000万円へのチャレンジを続けます。神学校献金(神学生奨学金献金)推進は決して壮年たちだけの業ではありません。ひとりでも多くの献身者が送り出され、ひとりでも多くの伝道者が生み出されるようにとの思いは、私たちバプテストの願いでもあります。神学校週間を覚え、神学校献金(神学生奨学金献金)の目標額が満たされるよう、皆様方のご協力とお祈りをお願いいたします。また年間を通じての献金もお願いします。具体的な呼びかけには、この「しおり」や壮年会連合の働きを紹介している「壮年会連合ニュース」、ホームページなどをご利用下さい。

神学校献金(神学生奨学金献金)の推移

年度	献金額
2008年度	2,490万円
2009年度	2,411万円
2010年度	2,325万円
2011年度	2,345万円
2012年度	2,228万円
2013年度	2,292万円
2014年度	2,284万円
2015年度	2,227万円

西南学院大学神学部及び東京・九州両バプテスト神学校で学ぶ神学生

神学生氏名(学年、よみ、推薦教会)

【西南学院大学神学部】 26名 <2016年度奨学金貸与者数:22名>

博士後期	柏本隆宏(3年・かしもと たかひろ・福岡国際)、城 俊幸(3年・たちとしゆき・西戸崎)
博士前期	泉 選也(2年・いずみ えりや・野方)、広木 愛(2年・ひろき あい・田隈)、福久織江(2年・ふくひさ おりえ・函館)、青木紋子(2年・あおき あやこ・南光台)、三上 充(1年・みかみ まこと・金沢)、元川信治(1年・もとかわしんじ・調布)
専攻科	酒井朋宏(さかいともひろ・名古屋)
学部神学コース	伊藤真嗣(4年・いとう まさつぐ・相模中央)、遠藤光子(4年・えんどう みつこ・別府国際)、紺田剛孝(4年・こんだ よしのり・田辺)、酒井 信(4年・さかい しん・緑の牧場)、永山辰原(4年・ながやま ときはら・福岡西部)、平野健治(4年・ひらの けんじ・大井)、川久保拓也(3年・かわくぼ たくや・ふじみ野)、カandel ジャナク(3年・かんでる じゃなく・福岡新生)、杉本拓哉(3年・すぎもと たくや・宇都宮)、小櫻 信(2年・こざくら まこと・大阪)、安里道直(1年・あさと みちなお・東風平)
選科	永松 博(3年・ながまつ ひろし・野方)、宮田祐亮(3年・みやた ゆうすけ・富山小泉町)、横濱峰二子(3年・よこはま ふじこ・札幌)、加山 献(2年・かやま ささぐ・新潟主の港)、原田 賢(1年・はらだ けん・大宮)
特別研修生	大里 紡(おおさと つむぐ・鳥栖)

【東京バプテスト神学校】 6名 <2016年度奨学金支給予定者数:3名(第1回連盟理事会にて決定)>

神学専攻科	郭 淑(かくしゆく・厚木国際)、澁谷和美(しぶたに かずみ・那覇新都心)、林 雄植(イム ウンシツ・渋谷)
教会教育専攻科	岡村ゆり(おかむら ゆり・奈良)、田中宜之(たなか のぶゆき・筑波)
教会音楽専攻科	澤田ルツ子(さわだ るつこ・千葉)、杉浦優子(すぎうら ゆうこ・藤沢)

【九州バプテスト神学校】 6名 <2016年度奨学金支給予定者数:4名(第1回連盟理事会にて決定)>

牧師コース	桑原伸良(くわはら のぶよし・長崎)、香月太郎(かつき たろう・早良)、山時松江(さんとき まつえ・防府)、諸岡 寛(もろおか ひろし・平尾)、田口圭子(だぐち けいこ・長崎)、中村聖架(なかむら きよか・長崎)
-------	--

【神学校献金(神学生奨学金献金)】 Q&A (壮年会連合ホームページより抜粋)

Q:各教会ではどのようにして神学校献金を献げたら良いのですか。

A:毎年6月に行われる神学校週間を用いて献金される教会・伝道所が多いと思いますが、年間を通して神学校献金を献げているところも増えていきます。また伝道者養成の業の一つとして本活動の推進を連盟から全国壮年会連合に委ねられていますので、壮年が主体的に働かれることが多いと思いますが、是非教会の皆さまに働きかけていただき教会の業となることを期待しています。なお、具体的な働きは壮年会連合ニュースなどで紹介していますので、是非参考にしてください。【補足:個人として献金をしてくださる方は、郵便局の赤色(送料は壮年会連合事務局が負担)の払込取扱票で振込みができます。口座番号は、00150-7-669605です。全国壮年会連合ニュースにも記載しています。なお、送金内容と連絡先を必ずご記入願います。】

Q:2013年度から神学校献金の名称が変わったのはなぜですか？

A:神学校献金は従来から、西南学院大学神学部で学ぶ神学生の授業料と生活

費の一部を支えるため、奨学金という形で用いられてきました。更に2012年の連盟

定期総会において、西南学院大学の神学部だけでなく、東京バプテスト神学校や九州バプテスト神学校で、牧師となるために学ぶ神学生にも用いられるよう「神学校献金使途拡充」として提案され議決されました。そこで「神学校献金」の使途を明確にするため、2013年度より「神学校献金(神学生奨学金献金)」という名称に変更いたしました。【補足:神学校献金という呼称から、神学校の運営のために用いられていると誤解されるのでは、との意見もあり、神学校献金推進委員会議などで検討をしていますが、あくまで神学生の奨学金として用いていますので、ご理解とその旨の広報を教会内にてお願いします。】

Q:奨学金の内容は何ですか？

A:西南学院大学神学部神学生には、1種奨学金(授業料や施設費など 校納金)と2種奨学金(生活費補助)を貸与(一部返還の義務があり)しています。尚、東京バプテスト神学校や九州バプテスト神学校の神学生には、両神学校から支給される奨学金の資金として供与していますが、全額、授業料に充てられます(中途退学や伝道者とならなかった場合は、返還義務が生ずる)。